

9・15もう動かすな原発！福井集会

実行委が開催を発表

「9・15もう動かすな原発！福井集会」

(9月15日午後1時、福井市中央公園)の実行委員会が26日、県庁

外に呼びかけました。国内で唯一稼働中の関西電力大飯原発3、4号機(福井県おおい町)が順次、9月2日に3号機、同15日には4号機の定期検査入りを迎え、再び国内は原

発稼働ゼロとなることから、計画されました。また、原発からの脱却を求める3団体の共同行動として「10・13 NO NUKES DAY」が10月13日に東京で取り組まれ

るのに呼応したものです。

実行委員長を務める中島哲演・明通寺住職「小浜市」ら5人が会見しました。中島氏は

「今度こそ動かしてはだめだという願いを結集したい」とのべ、東京電力福島第1原発事故にふれ、「国ぐるみで放射能汚染水の被害の拡大を抑えるべきとき」だとして、原発の再稼働や輸出を進める

政策を批判。原発ゼロでエネルギー政策を広く深く議論する運動の発信点として「福井から発信したい」とのべ

集会には、脱原発をめざす首長会議世話人の三上元湖西市長(静岡県)から連帯のメッセージが寄せられています。日本人初の宇宙

飛行士で、福島県から県外に避難を余儀なくされている秋山豊寛さんが当日参加して訴えます。